

**ロビン・ヘンショウ (Dr. Robin Henshaw) さん****【シニア・アドバイザー就任の挨拶】**

緒明理事長より、シニア・アドバイザー就任の申し出をいただいたことを、非常に光栄に思います。私が最初に三島を訪れたのは、1992年のことで、グラウンドワーク（GW）を紹介するためのものでした。その後も、何度か三島を訪れたり、また三島からの訪英団をおもてなししたりする機会に恵まれ、GW三島の渡辺事務局長はじめ、ボランティアの皆様方と温かい友情を育むことができました。これまで長年にわたってGW三島が取り組まれてきた事業は素晴らしく、他の手本となるような事業も含まれておりますところ、心からの賞賛をお送りします。また、社会における善の力として、今後も引き続き、日本の中で先駆的なNPOとしての役割を果たしていこうとするGW三島の情熱を応援いたします。

**【略歴】**

1950年生まれ。教職、観光、都市計画などのキャリアを経て、英国におけるGW創設に携わった後、1983年には、GWオールダム&ロッチデールを立ち上げて、所長に就任した。その後、GWオールダム&ロッチデールは、数あるGWの中でも、最も規模が大きく、また最も効率がいいと呼ばれる団体に成長し、160人の有給職員を抱えた他、一部手当付きの研修プログラムなどを有し、年間の事業規模は4.6百万ポンド（約8億6千万円）にも達した。英国政府は、地域における戦略的パートナーシップを、地域再生の要ととらえるようになり、ヘンショウ博士は、同分野で広く名を知られるようになった。特に、大卒者の就業支援としてのボランティア・プロジェクト・アシスタント（VPA）プログラムは、めざましい効果を上げ、国際的にも知名度の高い研修プログラムとなった。

ヘンショウ博士は、16年前より日本のGWとの関係強化に乗り出した他、米国におけるGWの立ち上げにも奔走した。またヘンショウ博士は、警察判事と治安判事を務めている。これらの功績により、2007年にはバッキンガム宮殿にて、エリザベス女王より大英帝国勲章（Order of the British Empire）を授与された。



左：ロビン・ヘンショウ博士 右：渡辺豊博事務局長